



<http://www.yokohama-tawawa.jp>

みんなで作る横浜の福祉 誰もが生きやすい社会へ！

—12/5 第28回障害者の未来を考える集い—

「なんでこんな寒い時に集会なの。」
「それは障害者週間だから....」と言う会話が聞こえる季節。毎年活動ホームしもだのメンバーも参加してきた『障害者の未来を考えるつどい』が開催されます。はじめの頃は、皆でそろって参加していましたが、重度障害の人は、年と共に冬の海風が身体に厳しくなっていて、



『支える会』の主な活動

(含・会長、担当者出席関連会議)

※毎週月曜日は、支える会家族会の活動日

- 11月19日 家族会
- 20日 しもだ役員会
- 22日 よつば経営検討委員会
- 25日 しもだ事業会議
- 29日 しもだ運営委員会
- 12月5日 障害者の未来を考える集い
- 5日 YK会クリスマス会
- 11日 GH よつばホーム職員会議
- 12日 NPO げんき理事会
- 16日 支える会理事会
- 17日 GH よつばホーム家族会
- 19日 しもだ大掃除 (よつば担当)
- 20日 区社協セイフティーネット定例会
- 21日 GH 事務局会議
- 23日 活動ホームしもだ事業会議
- 1月7日 しもだ広報
- 8日 GH 職員会議
- 14日 GH よつばホーム家族会
- 15日 港北区社協理事会
- 17日 GH よつばホーム職員会議
- 20日 研修会・摂食と嚥下 松澤先生
- 22日 よつば職員面談
- 24日 研修会 (主催・市肢連) 在宅防災
労務研修会 (支援センター) 大沢先生
- 25日 GH 事務局会議
- 27日 しもだ事業委員会

参加できる人も少なくなってきました。

そんな中、いつも元気に参加される NPO 法人一步舎の皆さん。今度の集まりでも一番前で、参加されていました。



NPO 法人一步舎の理事長山本暁子さんにお話を伺いました。

* * *

もう何年も何年も市作連 (横浜市作業所連絡会) や活動ホーム連絡会、グループホーム連絡会で集会をやって来たけど、今、障害者の立場が、少しずつでもよくなってきているのは、こうして皆で集まってきた活動があるからなのです。ずっと活動を継続させて来ているのが向上につながっているのだから、家族の皆さんたちも、少しでも参加してその様子を見てほしい。とっているの。

一步舎は、現地解散にして、迎えに来てもらうので「早めに来て、少しでもいいので一緒に参加してください。その状態を市民の皆さんがちょっとでも振り向いてくれるだけでも良い。何も始まらなかったら、何も始まらないのだから...」ちょっとでも生きやすい世の中になるように、前向きに頑張りましょうと呼びかけています。

家族の皆さんも、参加が大変な人も、出てきてくれています。と笑顔で話してくださいました。

YK会の皆さんと クリスマス会

今年も、柴俊夫さんやせんだみつおさんたち大勢のYK会の皆さんが、活動ホームしもだを訪れました。

ご寄付と共に、お菓子がいっぱい入った長靴や、赤いとんがり帽子のおみやげを頂き、障害者たち上がりました。

近隣の皆さんやメンバーの家族達も一緒にのしいひとときをすごしました。



横浜の震災対策について

研修・防災

—震災が30年以内に横浜にくる割合は80%と言われる中で、横浜市はどう対策をたて、私たちは、どう備えなければいけないのか—

令和2年1月24日、講師：障害者支援センター事務室長大貫義幸による 研修会に、支える会家族会も参加しました。

およそ2時間にわたり、横浜の災害の状況や震災対策への取り組みなどについて研修を受けました。

先ずこれまでの災害の被害状況を踏まえ、被害想定と減災への基本目標

1. 被害を最小限に抑える（死者数50%、避難者数40%、建物被害数50%の減少）

家に住み続けられるように対策をすすめる。

2. 発災時の混乱を最小限に抑え市民の命を守る取り組み。

3. 災害に備える協定（都市間の協定、民間企業との協定、遺体取扱いに関する協定）

必需物資、施設の利用、応急復旧資材、被災者の救出、医療衛生、防疫、救助活動、職員の派遣等）

○東日本大震災から9年たちましたが、その経験をもとに鶴見川の氾濫に備えたとりくみもおこなっている。反乱を想定する河川には、カメラを設置し常時監視。土嚢とうの準備をし素早く情報を流す。

○津波に対する想定は2mだったところを3m、4m補強しており問題ない。

○横浜市内には、調査の結果、活断層はない。震度6弱までは、建物の倒壊はないだろう。

ただし、マンションの場合、揺れによる被害が想定されるので家具ピアノなどの固定も必要。

○火事が一番怖い。どう防ぐか、電源を切るなどの対策（感震ブレイカーなどの設置など）をとっておくこと。

○帰宅困難者への対策。保育園、小学校ではその場に迎えが来るまでとどめ置く。

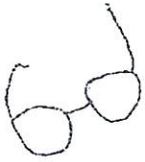
○食料等は、市外に4つの大きな倉庫を持っている。地域防災拠点へ運搬する。（「たわわ」72号参照）

○福祉避難所について。直接言ってもうけられない。地域防災拠点で調整することになっている。

その他の緊急時対策について

私たちを取りまく生活の中では、いろいろな状況、普段想定していないことが起こります。

事に今度のコロナウィルスの感染や、インフルエンザなどだけでなく、病気については、初期の判断と速やかな対応が、後の回復におおきく響きます。今後はこの点でも研修し、皆さんと共有していきたいと思えます。



めがねの声

◇一年中 風邪がこわい...

今年のお正月はいかがでしたか。この頃はやっと寒くなって、ほんとの冬が来たかんじです。去年のニュースでは、この冬は風邪がはやると言っていました。12月ごろから私たちの周りでも、インフルエンザが、何人も出ました。

グループホームの友だちが、お正月明けから風邪をひき、やっと治ったかなと思って、みんなで「あしたは、活動ホームに行けるね」と言っていたのに、また少しおかしいということで病院に行っているいろいろな検査をしたら、肺炎になっていました。職員たちと母は、ばたばたしています。友だちは重度障害者ですし、まだ医療のケアが必要で、すぐにはグループホームに戻れないので、退院した後の生活の事を考えているところです。

* * *

私も風邪を引くととても大変です。

みんな嘘みたいと思うかもしれませんが、風邪をひくと座ってられないし、痰が出せないし、ハナもかめないしで、とてもこわいです。病院の先生やリハの先生も、そろそろ痰の吸引器の話をしたりしています。将来のためにですが...

私の生活は、秋から冬まではマスクをして外出。冬の間は、人ごみに入るのを我慢。3月バリアフリーを見に行くのをきっかけに人混みにも出ます。それからは、怖いけれど無視して出掛けちゃう！これが私の一年です。

いつでも怖くてもマスクをつけて、帰ったら手を拭いてもらって....、元気にすごします。外に出るのは大好きなのです。

この頃は、寒い時や疲れた時に痰の咳がでるようになりました。初めの頃は、風邪かと思ってビックリしていましたが、リハの先生にそう教えていただいて、「そうかな...」と思っています。

1か月に1回ですが、リハビリをしていただくと元気になります。

ちょっと咳をすると「風邪を引くのかな...」と心配になりますが、活動ホームやグループホームでも、ヘルパーや職員たちに気をつけていただいているので安心です。

* * *

私は、昔から私を知っている同じ病院の先生に診てほしいと思います。新しい先生もちょっと心配ですが、ずっと続けてみまもってほしいです。グループホームにも、障害者のことに詳しい看護師がいて長く健康を見守ってくれていれば、少し安心だと思います。



大原友子

訃報

長年私たちと共に家族会で活動してこられた福田次郎さんのご母堂・福田定子さんが、1月93歳で亡くなりました。心よりご冥福をお祈り致します。

福田さんは、活動ホームしもだ建設前の、地域作業所時代の「よつばホーム」へ子息の次郎さんが入られるとともに、家族会の一員として、常に私たちと共に在りました。

活動ホーム出発の時から、NPOの出発、グループホーム建設と今日まで、資金作りのための手作り品づくり、バザー、チャリティーコンサートなどの活動の他、家族会として毎週の集まりの中で、啓発事業の写真展、研修会、各種の会議などにも出席。支える会の推進役として活動されてきました。

昨年4月に次郎さんが亡くなり、悲しいお見送りをしたばかりでしたが、日頃からの言葉通りの旅立ちとなりました。よく通る明るい声が聞こえないのは残念の一言ですが、いまはどうか安らかに眠り下さい。



寒気も少しずつ緩みはじめましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
春の訪れが待ち遠しく思いますが、徐々に日も長くなってきていて春がすぐそこまで来ている様です。

昨年からインフルエンザが猛威を振るっているというニュースをよくみます。学級閉鎖の話をよく聞きましたが、今シーズンはよつばホームも例外ではなく入居者、スタッフにも罹患してしまい大きな影響が出てしまいました。

幸い重症化することなく回復が早かったことがせめてもの救いでした。

そして無事に年末年始を実家で過ごすことが出来、家族と素敵なお正月を迎えました。



地域の防災訓練

昨年ですが、地域の防災訓練に参加しました。各グループに分かれて、救護や放水などの体験をしました。防災訓練に参加することにより、普段から意識することが大切だということを再認識しました。備蓄品についても再確認したいと思います。

地域の中には車いすの人がたくさんいるので、またこういう機会には参加していきたいと思っています。

感染予防



冬とは思えないポカポカ陽気から一変、真冬の寒さになってみたり...と、今年の冬はなんだかおかしい...。こんな天候が安定しななか、他国から未知のウイルスが上陸してしまいました。

テレビ、ラジオ、新聞など、色々なメディアで『〇〇が原因だ』『〇〇が効くらしい』などの情報があふれています。どの情報が正しいのか、かえって迷ってしまいます。

どのウイルスも体内に入ると『悪さ』をするようなので、マスクの着用、うがいをする、手洗い(洗えない人は手拭きで手を清潔に)等をする位しかないようです。

まだまだ寒い日(たまに暖かったり)が続きますので、それぞれに出来る予防策を!



Birthday&X' mas

11月は第2よつばホームの章子さんと友子さんが誕生日を迎えました!

そして12月にはクリスマスパーティーを開きました。誕生日にはバースデーケーキ!

クリスマスにはクリスマスケーキとごちそうが並びました♪クリスマスツリーときれいな飾りで雰囲気もいい感じに♪

このいつもと違う雰囲気に入居者のみんなからもわくわく感と良い表情があふれています。みんな癒された日となりました。



連日ニュースでは新型コロナウイルスの情報が流れています。日本でもヒトからヒトへの感染が確認され、日に日に感染が拡大しています。巷ではマスクやアルコール消毒関連の商品が品薄となっています。この先、新型コロナウイルスはどうなっていくのでしょうか・・・。出来るだけ早く終息して欲しいです。